



1階玄関ホール。ホールを広げリビングの出入口の位置を変更。左手に2世帯分の下足収納を設置

20年前にご主人のご両親との二世帯住宅として建設されたS様邸は、外階段付きの完全分離タイプ。ご両親が亡くなられ、1階部分が空いたのを機にお嬢さま一家との同居が決まり、リフォームが計画された。

ご両親の介護の際に外階段で行き来する不便さを痛感していた奥さまは、内階段の新設を希望。その位置をどこにするかがリフォームの大きなポイントになった。当初は構造的に無理のない位置が検討されたが、既存の間取りへの影響と費用面で断念し、間取りの面でもっとも合理的であった1階玄関ホールに決定。耐力を確保するため壁を厚くするなど補強を施し、階段部分には新たに基礎を入れ、階段は玄関に圧迫感を与えないように蹴込み板のない軽快なデザインとしている。上部にあった洋室は、階段から2階玄関まで続く広いファミリーホールに変身した。

S様ご夫妻の居住スペースとなった1階の間取りはほぼ以前と変わらないが、お嬢さま一家の暮らす2階は、キッチンを対面式に替え、リビングに隣接していた主寝室は子供室に、クロゼットはご主人の書斎に、と大幅に変更。家族の居場所をまとめたことにより、多忙なご主人とお子さんが接する機会も増えたという。また、内階段の新設により、上下階の移動もスムーズで、親子二世帯の仲睦まじい暮らしも実現している。



2階のLDK。正面が対面式キッチン、その右が洗面・トイレへの通路、右手のガラス戸の奥が書斎。テレビの手前には子供室への出入口もある



1階玄関。新設の階段は鉄骨製だが、木の踏み板、アイアンの手すりです既存空間に調和させている



2階のLDK。以前はオープンな空間を食器棚で仕切っていたが、食器棚をバックヤードに納め対面式キッチンに



内階段の新設に伴い、2階洋室は広いファミリーホールに



お嬢さまのご主人用の書斎。透明ガラスの建具でリビングと一体感をもたせたためか、いつも家族が自然に集まる空間に



浴室は主に1階を使うので、2階はシャワールームを設けて広くスタイリッシュな空間に

DATA

築年数：20年

リフォーム年月：2006年9月

延床面積：260.2m²

リフォーム該当面積：137.4m²

工期：約2カ月

設計・施工：[三井のリフォーム](#)

[<三井ホームリモデリング（株）>](#)

URL：<https://www.mitsui-reform.com/>